

実例で知る 業務改善の具体的方法

働き方改革チェックシート

学校の働き方改革の推進に向けて、各学校において取組状況を把握するとともに、更なる取組の検討や振り返りに活用できるチェックシートを作成しました。

業務改善の内容について1～14に分類し、取組例（本事例集の取組等）を参考に教職員・学校として現状を把握、改善の余地を明確化し、自ら取り組みたいことを決定、定期的に取り組み、業務改善の全体像を把握できるように構成しています。エクセルで作成しているので、自校独自の取組を加筆し、オリジナルシートにすることも可能です。

自校の現状を把握し、それぞれの学校の状況に合った働き方改革の実践、校内の教職員全体で課題意識を持ち、取組を進めるためのツールとしてお役立てください。

No.	項目	内容 (教育委員会との調整が必要な内容も含みます。)	学校・教師が担う業務に係る3分類	チェック欄			備考（振り返り、検討内容等）	取組例 (文字をクリックすると働き方改革事例集等の該当ページが開きます)
				年度当初	年度途中	年度末		
1	朝の活動	欠席・遅刻連絡等をWebアンケートフォーム等を活用してデジタル化している。	-	未対応	着手中	完了	欠席・遅刻連絡から導入を開始、10月より、アンケート、お便りをデジタル化	Webアンケートフォームを活用し、職員室外でも、PCで保護者からの欠席連絡を確認できるようにした。
2	授業	教職員の勤務時間を考慮した時間割や定期テスト、学期の区分の見直しなど、教育課程の編成上の工夫等に関する取組をしている。	③教師の業務だが、負担軽減が可能な業務					職員会議を行う日は6限をカットし、短縮授業を実施した。 午前中を5時間制にして、下校時間を早めた。 週3日の5時間制を導入し、教師の放課後の業務時間の確保及び早期退勤を実現した。 校務分掌を、経験者と若手の2人担当制とした。 各主任の負担軽減を図るため、その他の業務を他の教師に分散し、負担の公平化を図った。

① 項目名・内容

② 学校・教師が担う業務に係る3分類

- ①基本的には学校以外が担うべき業務
- ②学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務
- ③教師の業務だが、負担軽減が可能な業務に分類して表示しています。

No.	項目	内容 (教育委員会との調整が必要な内容も含みます。)	学校・教師が担う業務に係る3分類	チェック欄		
				年度当初	年度途中	年度末
1	朝の活動	欠席・遅刻連絡等をWebアンケートフォーム等を活用してデジタル化している。	-	未対応	着手中	完了
2	授業	教職員の勤務時間を考慮した時間割や定期テスト、学期の区分の見直しなど、教育課程の編成上の工夫等に関する取組をしている。	③教師の業務だが、負担軽減が可能な業務			

③ チェック欄

年度当初/途中/年度末の、各取組への対応状況（完了/着手中/未対応）を入力します。エクセル版では、入力した「完了」の数の合計が合計欄に表示されます。

④ 備考

振り返り、検討内容等、自校の状況について記載することができます。

⑤ 取組例

本事例集の該当頁や取組事例に関連する資料へのリンクがある場合に記載しています。

備考（振り返り、検討内容等）	取組例 (文字をクリックすると働き方改革事例集等の該当ページが開きます)
欠席・遅刻連絡から導入を開始、10月より、アンケート、お便りをデジタル化	Webアンケートフォームを活用し、職員室外でも、PCで保護者からの欠席連絡を確認できるようにした。 職員会議を行う日は6限をカットし、短縮授業を実施した。 午前中を5時間制にして、下校時間を早めた。 週3日の5時間制を導入し、教師の放課後の業務時間の確保及び早期退勤を実現した。 校務分掌を、経験者と若手の2人担当制とした。 各主任の負担軽減を図るため、その他の業務を他の教師に分散し、負担の公平化を図った。

働き方改革チェックシート

働き方改革チェックシートを効果的に活用するためには、「チェック」することがゴールにならないよう心掛けることが重要となります。そこで、チェックシート使用の際注意すべきポイントを以下の通りまとめました。実際にチェックシートを利用する際にご参照ください。

「チェック」をゴールにしない使い方とは？

☒ スタンダードに活用

・管理職が把握→教職員と検討→実行→振り返り

☒ 教職員による主体的な業務改善の検討の際の視点として活用

・自校で重点化したい「取組例」について議論・提案

☒ 管理職の研修会資料として活用

・校長会、教頭会等でチェック・共有し、要望化

☒ 「●●学校チェックシート」として活用

・独自の取組を加筆し、自校オリジナルシートに

☒ PTAや地域への協力依頼の資料として活用

・「取組例」の例示による協力依頼や、教職員の働き方改革の理解啓発